

みんなで創るまちづくり “みらい会議”

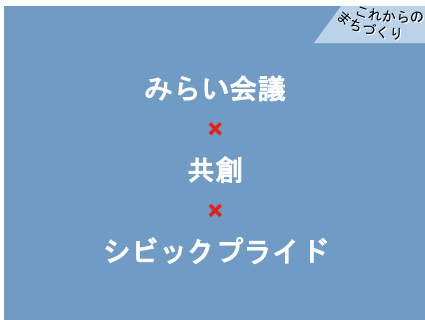
前佐賀県武雄市長を招いたシンポジウムを開催

3月17日(土)生涯学習センターで「みらい会議シンポジウム」を開催しました。みらい会議サポーターを含む約100人が参加し、市政報告・基調講演・トークセッションを行いました。

企画政策課
☎995-1804

市の現状とこれからのまちづくり ～市長からの市政報告～

今年度の一般会計当初予算額208億円を、月収40万円の家庭に置き換えて、高村市長から市の現状を報告しました。支出が



収入を上回っている状況が続いているため、毎月預金を取り崩している状況だと説明。今後も厳しい状況が続く見通しですが、高村市政1期目にまいた種を开花させるため、継続プロジェクトの歩みは止めず、将来を見据えた投資は継続すると力強く訴えました。

今年度の主要事業を説明し、最後に「みらい会議×共創×シビックプライド」をキーワードに、今年度のみらい会議を「みらい会議パートナー」と共に創ろうと提案しました。今後、みらい会議は、裾野のまちづくりを共に考え実行していく仲間と、企画・運営していきます。

5万人都市における地方創生 ～樋渡啓祐氏による基調講演～

8年8カ月の武雄市長時代を振り返りながら、ホームページのフェイスブック化や、TSUTAYAとスターバックスの入った武雄市図書館のリニューアルなど独創的・先駆的な取り組みについて話しました。まちづくりのキーワードとして「ブランド・スピード・ストーリー」を掲げ、コンパクトにインパクトのある言葉で表現することや、スピードは最大の付加価値であるということや、ユーモアを交えながら話し、笑いと驚きの絶えない会場となりました。



市の人口減少対策を考える～高村市長×樋渡氏のトークセッション～

2人に共通することは、まちづくりは楽しいということ。市民もまちづくりに参画する時代となり、プレーヤーやオブザーバーなどさまざまな形で足を運んでもらいたいと訴えました。高村市長は、楽しめるまちづくりを仕掛けていくので、身構えず気軽に参加してほしいと締めくくりました。

